

# チャレンジフェスティバル開催!!

2025年5月18日(日)に、戸塚スポーツセンターでチャレンジフェスティバルを開催します。  
種目は、体力系の握力、片足縄跳び、小丸太切り、ドリブルなどや、頭脳系の記憶力や数字書き、ほかに昔懐かしい、羽根つき、けん玉、輪投げなど全部で20種類、大人も楽しめます。  
記録は小学生低学年・高学年に分かれていますので、新記録目指してチャレンジ!!

※写真は第29回より



【フロアカーリング】  
何点とれるかな?



【記憶力】  
全て記憶できるか?



【小丸太切り】  
何秒で丸太を切り落とせる?



【ドリブル】  
何秒で戻ってこれる?



各種目の最高記録者に賞状と記念品を授与



開催時間などの詳細は  
随時戸塚区ウェブサイトにて  
公開します!



## 開催概要

### 第30回チャレンジフェスティバル

主催：戸塚区青少年指導員協議会 共催：戸塚区子ども会連絡協議会  
後援：戸塚区役所  
日時：2025年5月18日(日) 9時00分～13時00分(予定)  
会場：戸塚スポーツセンター(戸塚区上倉田町477)  
●ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。  
●上履きを必ずご持参ください。



2024年度 下期行事	<b>10月5日(土)</b> ■青少年防災対応力強化研修 (横浜市消防訓練センター) 区内中高生の防災対応力強化を目的に、心肺蘇生等を実習	<b>11月3日(日・祝)</b> ■第48回戸塚ふれあい 区民まつり (東戸塚小学校ほか) 工作教室や模擬店を 出店	<b>11月10日(日)</b> ■神奈川県青少年指導 員大会 (相模原市)	<b>12月8日(日)～12月13日(金)</b> ■12/8 児童文化作品展～子どもたちが作った作 品を紹介展示～ (戸塚区総合庁舎3階 多目的スペース大) 工作の体験コーナーもあり ■12/9～13 児童文化作品展及び青少年指導員 活動紹介パネル展 (戸塚区総合庁舎3階 区民広間)
	<b>3月9日(日)</b> ■横浜市青少年指導員 大会 (関内ホール)	<b>3月29日(土)</b> ■スポーツフェスティバル (戸塚スポーツセンター) スポーツ推進委員と 共催でポッチャ大会と さわやかスポーツ体験 会を実施		
2025年度 上期行事 予定	<b>5月18日(日)</b> ■チャレンジフェスティ バル (戸塚スポーツセンター) 20種目の様々な競技 にチャレンジ!新記録 を目指せ!!	<b>6月8日(日)</b> ■戸塚区青少年指導員 全体研修 (戸塚区役所会議室)	<b>7月</b> ■全市一斉統一行動 パトロール 青少年指導員が繁華 街、公園などを中心に 巡回夜間パトロールを 実施	<b>7～8月</b> ■社会環境実態調査 インターネットカフェ・まんが喫茶、古書店、ゲームソフト取扱店などの店舗 調査

実施内容については変更する場合があります。



戸塚区青少年指導員協議会は 戸塚区青指

検索



2025年  
2月20日



## 目次

P.1…『子どもの本音を聴いていますか?』／ P.2・3…親子でお出かけスポット第2弾  
P.4…チャレンジフェスティバル開催!!／ 2024年度 下期行事・2025年度 上期行事予定



## 『子どもの本音を聴いていますか?』



子どもが成長するにつれ、頼もし  
さが増す反面、不安や心配事も増え  
ていきますね。

友だちはいるのか、いじめられて  
はいないか、勉強にはついていける

のか、学校は楽しいのか、スマホやゲームにのめり込んでいな  
いか……。子どもの様子や本音を知るには「聴く」ということ  
がとても大切です。それにはカウンセリングの「傾聴・受容・  
共感」の基本姿勢がとても参考になります。



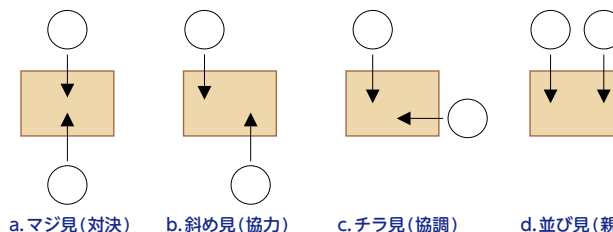
### 1. 本音を聴く心構え ＜決め付けない＞

親は子どもの成長を生まれた時から見ています。子どものこ  
とは分かっているという気持ちから、つい「どうせ○○でしょ  
う」という先入観を持って話をしてしまいがちです。それでは  
本当の姿は見えません。「分かっている」という気持ちから誤解  
が生まれます。

### ＜「認める」≠「賛成」＞

「なるほどね」「そう思ったんだ」と親の気持ちや考えと違っ  
ていても、まず子どもの気持ちや考えを認めることが大切です。  
人は「自分を認めてもらうこと」が何より重要です。しっか  
りと気持ちを聴いた上で、親としての気持ちや考え方を伝えま  
しょう。

### 2. 座る位置による様々な効果



子どもの話を聴く時の座る位置(視線の合わせ方)によっ  
て様々な効果があります。

「a. マジ見」は相手が圧迫感を受け素直になれません。望まし

い話し合いの位置取りは、協力を促す「b. 斜め見」から始め、協  
調を促す「c. チラ見」、そして本音を語りやすい親和の「d. 並び  
見」の位置へと徐々に移動します。

逆に、叱る時やお説教は「a. マジ見」の位置に座ると良いで  
しょう。

### 3. 話しやすいコミュニケーションのコツ ＜態度によって話しやすくするコツ＞

子どもが手を組んだら自分も手を組むというように姿勢や  
態度を合わせます。また、うなずきやアイコンタクトなど、動  
作や視線で「聴いているよ」「そうなんだね」と受け入れている  
ことを示します。

### ＜あいづちやオウム返しで話しやすくするコツ＞

「はいはい」「ふ～ん」「へえ～」「ほお～」の『は行』と『うんう  
ん』『そうか』『そうなんだ』などの『うん・そう(運送)屋』が基  
本です。子どもの気持ちに共感する言葉であいづちを打つと会  
話が続き、どんどん気持ちを伝えてくれます。

また、「つらかったんだ」「頭にきたんだね」など、言葉の最後  
や気持ちを『オウム返し』に繰り返すことで、会話にスムーズ  
な流れを作ったり、発言のキッカケを与える効果があります。

### ＜本音を引き出す質問のコツ＞

子どもの様子を知りたい時に、子どもの口が重い場合には、  
「おなか痛くない?」「よく眠れた?」など最初は「Yes」「No」  
で答えやすい質問をします。そして会話に慣れてきたら「どう  
感じたの?」「どう思った?」など、気持ちや感情を自由に回答  
できる質問をします。

これらは子どもに対してだけでなく、夫婦間やあらゆる人間  
関係作りにも役立つコミュニケーションのテクニックです。一  
番難しいのは「1. 本音を聴く心構え」です。自分の子どもと言  
えども多くの親子の年齢は20歳以上離れています。育った環  
境も違い価値観が違っていても当たり前です。先入観を持ち過  
ぎず「気持ちを聴いて、まず違いを認める」から始めましょう。  
多様化はまず家族からです。





